



KAPATIRAN TIMES

カパティラン・タイムズ

2025年10月 No.49

〒105-0011 東京都港区芝公園3-6-18日本聖公会東京教区事務所内
Tel&Fax:03(3432) 6449 E-mail:kapatiran.tko@nssk.org
編集:山崎常城・永瀬良子

学生も大人も新しい驚き～野尻湖サマーキャンプ～

理事 山崎常城

長野県上水内郡信濃町野尻湖での毎年恒例のサマーキャンプに行ってきました。今年の参加者は高校生3名男子。3年生が2人、2年生が1人でした。恒例行事といっても参加する学生は毎年変わります。引率する私も、いつも新鮮な経験をさせていただいています。

最近の学生はワイヤレスイヤホンを常時つけているようで、最初に会ったとき話しかけても、聞こえていないので会話にならず戸惑いました。おそらく学生たちも初めて会う人に緊張してリラックスのために音楽などを聴いていたようです。野尻湖に到着してからは徐々に打ち解けてスマホもイヤホンもなしで過ごしていました。

初日は目の前の湖で泳ぎ、車で隣の新潟県の妙高高原温泉に行き、戻ってきて夜ご飯を食べました。夜はとても静かな環境です。もう深夜かなと思ってもまだ19時半ころと、都心とはまったく違う時間の流れに学生たちも驚いていました。灯りにつられて夜はたくさん虫がやってきます。急に目の前に虫が現れて「ひゃっ！」と少し高い声で驚く男子学生の様子がほほえましかったです。

二日目、裏山のゴルフ場で初めてのゴルフプレイを楽しみ、夕方には初めての魚釣り。大きなブラックバスが5匹釣れ、さっそく夜ご飯のおかずの一品になりました。夜ご飯のメインはカレーライス、皆2回はお代わりして、よく食べました。表面張力であふれそうなくらいお椀いっぱいカレーをよそる姿に若々しいエネルギーを感じました。

三日目、朝から掃除をして、お昼ご飯に素麺を食べて、道の駅でソフトクリームを食べて長野駅から新幹線で東京に戻りました。駅で学生が「よく食べたー！」と言っていたのが印象的でした。東京駅の手前で一人の学生が途中下車しましたが、お別れの挨拶なしで、そのままスーッと新幹線を降りてしまいそうになり、急いで追いかけて「お別れの際は挨拶しようね」と伝えると照れながら挨拶していました。シャイなのと経験がないのと、これもまた新しい驚きでした。夏の二泊三日の出来事が彼らの今後の糧となることを願います。

最初は緊張していたが、時間が経つにつれてとても仲良くなった。新幹線内は静かだったが、車中では少し話を始めた。お昼に食べたそばは本当においしかった。夜までには本当に仲良くなったので、寝る前にゲームをしました。二日目はゴルフと釣りに行った。ゴルフはとても楽しかった。Mのスイングは本当に面白かったし、Yは足の置き方が変だった。ゴルフの後は釣りに行き、MとYは2匹釣ったけど、僕は1匹しか釣れなかった。夜は湖のそばのゲームハウスみたいな場所に行ったんだけど、すごく楽しかった。Mは卓球が本当に上手で、一度も負けなかった。Yはフーズボールが上手で、シュートがとても強かった。3人兄弟みたいで、本当に楽しかった。最終日は掃除の日で、帰りの新幹線は寂しさと嬉しさが入り混じっていた。一緒に遊んだり話したりできたのは嬉しかったけど、あまりにも早く終わってしまったのは悲しかった。また来年、行けたらいいな。

H.S 高校2年 フィリピンルーツ

野尻湖サマーキャンプ



長野県に行きました。長野県に行くのは初めてで、とても良い経験になりました。このキャンプで体験したことは、初めての釣り、湖、ゴルフ。そして初めて食べたピーマンやのりの天ぷらです。僕が住んでいる埼玉県と違って長野県はそれほど暑くなく、エアコンがなくても汗をかきませんでした。泊まった家は田舎の方にあつたので虫が多かったのですが、虫が苦手なYが家の中に虫が入ってくるたびに怖がっていて、それが面白くて良いエンターテインメントになりました。キャンプ中はスマホにもあまり触れず、インターネットもなく、テレビもなかったのも、常に楽しみを探していました。2人のおかげで退屈せずに過ごすことができました。最後に、このキャンプに参加して本当にリラックスできました。学校のことや進学の悩みも、一瞬ですが忘れることができたように思います。

M.M 高校3年 フィリピンルーツ

長野に行き、野尻湖を訪れることができました。湖の景色はとても美しく、自然の豊かさを肌で感じることができました。また、伝統的な体験をしたり、地域の食べ物を味わったりして、日本文化の魅力を改めて実感しました。特に普段の生活ではなかなか味わえない郷土料理は、新鮮でとてもおいしかったです。さらに、今回の旅は自分にとって日本国内でこれほど遠くに行く初めての経験であり、とても良い思い出になりました。その中で新しい友達もでき、一緒に過ごした時間はかけがえのないものになりました。交流を通じて多くのことを学び、楽しみながらゴルフやったり泳いだりしました。来年もまたこのような機会があればぜひ参加したいと思います。今回の経験を支えてくださったりようこさんも、本当にありがとうございました。

Y.G 高校3年 ペルールーツ

フィリピンホームステイ



フィリピンに行った印象は、非常に多様で魅力的なものでした。特にホストファミリーの人たちは、とても親しみやすく、温かい歓迎をしてくれました。道を歩いていると、知らない人たちから笑顔で挨拶をされることが多く、現地の人々との交流が楽しかったです。

また、フィリピンの自然は多様で面白く、通行人のように歩く牛や野犬などもあり、ある日は、噛まれそうだったことがあり非常に人生を改めて実感した時もありました。

マニラでは、大都市の活気に圧倒されましたが、その一方で、田舎の地域ではのんびりとした時間が流れており、落ち着いた雰囲気も楽しめました。また、地元の料理を楽しむことができました。ルーガオやアドボなどのフィリピン料理は、懐かしい味を食べることができおいしかったです。何より、食べ物では鹿や、鳥の料理などどれも新鮮な状態で食べることができたことが良い経験でした。

ただし、フィリピンには交通渋滞やインフラの未整備な部分もあり、その点では少し不便さを感じることもありました。それでも、とても楽しく過ごせた旅でした。

(S.K. 大学1年、フィリピンルーツ)



1週間フィリピンにいて本当に良かったと思っています！初めは断ろうと思ったんですが、家族とではなくて、一人で行くとゆう経験をするのもいいなって思い、行くことを決意しました！留学のような経験もするべきだと思いました。

1日目はドキドキしてました。初めて良子さん以外の人と対面するのも緊張でいっぱいでしたが、素敵な人で明るく話しかけてくれるので緊張はほぐれて飛行機と車でいっぱい寝ました！

車でバルバラサンに向かって着いた頃、とても豊かな町で素敵だと思いました！空気が吸いやすかったです。色んな人と話せました！あっという間に日にちが過ぎて、お別れの日になるのがとても悲しかったです。帰りたくないって思って泣きそうになりました。家の人はお別れじゃないよまた会うんだからって言うてくれて更に泣きそうになったんですが、抑えて笑顔でバイバイってしました！

私はこの経験を通して、家族と離れて外国に1週間いることはいい経験だと思いました。自分がわかる言葉を言えば通じることもあるし、優しくサポートもしてくれます。外国は危険だと勝手に思ってたんですが、ちゃんと優しい人はいるんだと知りました。私はまたフィリピンに行く機会があったら行きたいと思います！

(K.M. 大学1年、フィリピンルーツ)



ご支援方法

◆カード

都度寄附
1回のための寄附



継続寄附 月500円～自由な
金額で毎月継続寄附ができます。



◆郵便振替

名義: カパティラン
振替番号:
00190-3-581517

◆インターネット

Giveone
カパティランで検索
<http://www.giveone.net/>
*寄附控除・税額控除あり
・多文化共生ホームステイ
・奨学金

◆facebook



いいね！で支援
カパティラン東京



◆Instagram



♡で支援
Kapatiran.tko



■皆様のお支えに心から感謝申し上げます。

2025年3月～2025年8月（順不同・敬省略）

《個人献金》

2025年3月

小川弥生 菅谷恵康 豊島義雄 安倍剛

2025年4月

安達真理子 横内光乃 佐々木國夫・紀久江
上原成和 菅谷恵康 石井美奈 辻政子
東江衿子 藤堂千浪 鈴木恵美子 澁谷良子

2025年5月

上原由美子 菅谷恵康 藤森範子 東玲子
豊島義雄 藁谷さた

2025年7月

菅谷恵康 豊島義雄 神崎雄二 藤田美土里

2025年8月

菅谷恵康 神崎雄二

《後援会費》

安次嶺佳子 鵜飼良機・久美子 岸まち子
菊池緑 佐々木國夫・紀久江 松田正人
前田眞智子 池田信己 加納美津子 関澄子
三原一男 中野京子 藁谷さた 橋本優子
高本範政

《多文化共生》

安次嶺佳子

《奨学金》

岸まち子 戸田晴美 本多峰子 畑井正春
飯塚みや子 辻政子 関晴子 中野京子
藁谷さた 田中弥生 市原信太郎・誉子

《奨学金毎月支援》

安藤裕子 菊池あゆみ 小田京子 深海律子
川田麻記 福澤眞紀子 牧野 兼三 山崎常城
井川和子 大貫尚子 須藤和男 永瀬良子
北村篤嗣 佐々木國夫 ローリー 野村紘子
北村 アイリーン

《教会・団体等》

聖オルバン教会 聖愛教会 聖ルカ礼拝堂
FAHこすもす 立教池袋中学校・高等学校
立教女学院キリスト教センター

～ライフジャケットご寄附のお願い～
長野県野尻湖で、毎年キャンプを実施
しています。カヌー、釣りなどのアク
ティビティを楽しむために、ご不要の
大人用ライフジャケットをお持ちの方
がいらっしゃいましたら、寄附を願
いいたします。

連絡先:

kapatiran.tko@nssk.org